opentext™

成功事例

Tieto

ソフトウェア開発サービスは、Tieto の成長著しい分野の 1 つです。大規模なソフトウェアおよび IT コンサルティング (ITC) サービス会社が、この分野で優れた能力と経験を持つにも関わらず、ソフトウェアの脆弱性を効率的かつ効果的に見つけて修正することができずに苦慮していました。Fortify on Demand は、Tieto が必要としていた機能をすべて備えていただけでなく、成果は期待を上回るものでした。現在、同社は Fortify on Demand をベースにしたセキュリティソリューションをクライアントに提供しています。

概要

Tieto は、北欧で最大のソフトウェアと ICT のサービス企業の 1 つで、IT サービス全般とグローバルな製品開発を提供しています。拠点はフィンランドのエスポーです。14,000 人の従業員、900 社の顧客を擁し、23 か国で事業を展開しています。

同社は、1968 年に地元の銀行や特定の法人顧客向けのコンピューターセンターとして設立されました。Tieto は IT 業界と共に発展し、昨年には 2016 年から 2020 年までの新しい戦略を発表しました。競争力と成長の強化のために選択した戦略は次の 3 つです。1) お客様にとっての価値を加速するサービス、2) 北欧におけるリーダーシップとグローバルな拡大、3) オープンエコシステムと共同イノベーションへの積極的な参加。

「私たちが購入したのは単なるツールではありません。Fortify on Demand は、包括的なアプリケーションセキュリティソリューションです」

SAMI SURO氏
ビジネスソリューション担当ディレクター
Tieto

Tieto において成長著しい分野の 1 つは、社内使用、特定のクライアント、垂直業界向けのソリューションのソフトウェア開発サービスです。同社は、石油・ガス、金融サービス、林業、製造業、メディア、小売、通信などの業界にトップクラスのソリューションを提供しています。

課題

ソフトウェア開発の優れた能力と経験があるにも関わらず、新規と既存のアプリケーション内の悪用可能な脆弱性を効率的かつ効果的に見つけて修正することができず、最近まで苦慮していました。

Tieto には約 3000 人の従業員を擁するソフトウェア開発組織がありますが、主にネットワーク、インフラストラクチャ、ビジネスのセキュリティ問題を中心に扱っているセキュリティチームは比較的小規模です。

「当社が直面していた主な課題の 1 つは、アプリケーションレベルのセキュリティテストを集中的に行う方法がなかったことです」とビジネスソリューション担当ディレクター、Sami Suro 氏は述べています。「私たちはネットワークとビジネスのセキュリティには多くの注意を払っていますが、最近まで、アプリケーションのセキュリティはそこまでは精査されていませんでした」

tieto

概要

- **業種**
  ソフトウェアおよびテクノロジー
- **所在地**
  フィンランド
- **課題**
  Tieto は、新規と既存のアプリケーション内の悪用可能な脆弱性を効率的かつ効果的に見つけて修正する必要がありました。
- **製品とサービス**
  Fortify on Demand
- **成功ポイント**
  + 体系的な一元的評価により、新規とレガシーのアプリケーションにある脆弱性を軽減
  + 社内と社外で使用するアプリケーションのセキュリティ脆弱性を軽減
  + Tieto は Web およびモバイルアプリケーションのセキュリティに関するクライアントの高い要件に対応できる体制を確立
  + Fortify on Demand をベースとした Tieto の新たなアプリケーションセキュリティテストサービスを実現

この数年間で、水平業界と垂直業界の両方向けの Web とモバイルの新しいアプリケーションについて、社内と社外顧客の要求が大幅に高くなっていると Suro 氏は話します。「モビリティは、ビジネスモデル、サービスモデル、収益モデル全体に変革をもたらしています」と彼は言います。「当社の主要なセクターでは、Web とモバイルアプリケーションに関するお客様の要件をすべて満たすことが期待されています」

Suro 氏は次のように説明します。「私たちは、このようなお客様からの声は、アプリケーションレベルのセキュリティ評価と修正を開発サービス全体の一部に含めてほしいということだと理解しました。当社の開発チームでは、アプリケーションセキュリティのテストにオープンソースツールを使用してきました。しかし、Fortify on Demand を使用してみたところ、その結果がいかに正確で優れているかを実感したのです。すべてのアプリケーションに関わる多くの利害関係者に可視化を提供できることは、非常に大きなメリットです」

ソリューション

脆弱性をリアルタイムに特定して修正し、アプリケーションを本番環境に迅速に導入できるよう、Tieto の開発チームはウォーターフォールアプローチ (進捗状況が設計、開発、テストから本番までのソフトウェア開発ライフサイクルのフローとして表される) からアジャイルな DevOps へと移行しました。この移行により、チームは段階的にソフトウェアを開発し、毎日リリースを行う短期間の開発「スプリント」を実施することになります。DevOps アプローチでは、セキュリティがプロセスの一部に含まれており、リリース前の開発とテストのライフサイクルで、欠陥、バグ、脆弱性が検証されるため、リスクを最小限にできます。

プロセスの有効化、コードの検証、本番環境へのリリースにおいて、自動化が重要な役割を果たします。Tieto は OpenText™ の長年のパートナーであり、現在は Tier 1 リセラーです。同社は、OpenText™ Application Delivery Management (ADM) ソリューションにより市場投入までの時間を短縮し、複数のテクノロジープラットフォーム全体でアプリケーションの品質を保証しています。担当者から Fortify on Demand by OpenText™ を提案されたとき、Suro 氏に迷いはありませんでした。

「弊社ではオンプレミスのソリューションを検討する意味はないと分かりました」と Suro 氏は話します。「オンプレミスのシステムを管理するリソースや経験がないため、クラウドの Fortify on Demand が最適でした」

成果

Fortify on Demand は Tieto のセキュリティチームの一部となり、Tieto では 750 を超える脆弱性カテゴリを特定して、迅速で正確な評価を実行できるようになりました。追加のリソースは必要なく、インストールや管理、難解な専門知識も不要です。このソリューションにより、Tieto はサードパーティやオープンソースソフトウェアのテストも実行できるようになりました。

「最初のスキャンの結果は非常に意義深いものだったと言えば十分でしょう」と Suro 氏は話します。「その意味で、Fortify on Demand 自体がすでに採算が取れていると言えます」

新しい収益源

Tieto は、独自のアプリケーションセキュリティ評価に Fortify on Demand を使用し始めてまもなく、顧客に新しいアプリケーションテストサービスを紹介しました。Tieto Application Security Testing with Fortify on Demand は、静的アプリケーションセキュリティテスト (SAST) または動的アプリケーションセキュリティテスト (DAST)、あるいはその両方を 1 回限りのテストまたは 12 か月間の継続サービスとして提供します。

Tieto では、新しいアプリケーションの開発プロジェクトに取り組んでいるクライアントが後の段階では修正にコストのかかる脆弱性を開発サイクル中に特定しようとしている場合には、継続サービスに登録することを推奨しています。「当社のお客様は、多くの場合、基本的には私たちと同じ立場にいます」と Suro 氏は述べています。「このサー

「Fortify on Demand を使用してみたところ、その結果がいかに正確で優れているかを実感したのです。すべてのアプリケーションに関わる多くの利害関係者に可視化を提供できることは、非常に大きなメリットです」

SAMI SURO氏
ビジネスソリューション担当ディレクター
Tieto

お問い合わせ

ビスは、お客様が行われてきた品質保証作業の自然な流れだからです。モバイルや Web のアプリケーションに対する需要の高まりも理解されているので、この新しいサービスは、お客様が次のステップに進むための手助けになります。これは当社にとって新しい収入源ですが、何よりも、アプリケーションの脆弱性によるリスクを軽減できる貴重なサービスです」

サービス品質

石油・ガス業界における Tieto の主要顧客の 1 社がすでに別のアプリケーションセキュリティテストソリューションを使用していたため、Fortify on Demand と比較してみたいと思ったと Suro 氏は述べています。その顧客が Tieto の新しいクラウドベースのテストサービスに登録したところ、テスト結果の品質に大きな違いがあることが分かりました。

「このお客様は、これまで使用していたソリューションよりも Fortify on Demand の方がはるかに優れていることに気づかれました」と Suro 氏は説明します。「弊社のお客様の業界では情報の機密性が極めて高いため、セキュリティに関して不要なリスクを負うことはできません。そのため、Fortify on Demand が提供するレポーティング機能とダッシュボードが高く評価されています。以前のソリューションと比較すると、推奨事項がより明確になり、開発者は修正をより簡単にできるようになりました。Fortify on Demand によって、コードのどこに問題があるのかを特定でき、何を分析すべきかを確認できます。たとえば、SQL インジェクションの脆弱性があるのかもしれませんし、クロスサイトスクリプティング (XSS) の可能性があるのかもしれません。Fortify on Demand なら、何を修正すべきかが非常に明確ですし、ベストプラクティスに基づいて処理を進めることができるのです」

脆弱性の少ない未来

OpenText™ Security Fortify on Demand のユーザーフレンドリーなダッシュボードとレポートにより、Tieto ではアプリケーションポートフォリオの管理や分散されたチーム間でのコラボレーションが容易になりました。レポートでは、重大度、脆弱性カテゴリ、事業部、地域などの企業データでフィルタリングされた指標が提供されます。重大な脆弱性を特定して優先度が設定されるほか、特にリスクの高いアプリケーションや傾向の履歴も表示されます。

「開発プロセスに関わるすべての人が、必要な情報をこのソリューションで確認できるのです」と Suro 氏は強調します。「Fortify on Demand は、評価したアプリケーションそれぞれについて評価結果を 5 つ星で表します。お客様はこれを基にアプリケーションを比較できます。場合によっては、サービスプロバイダーを比較することも可能です」

彼はこのように締めくくります。「社内の開発グループと外部のお客様の両方から、このサービスを求める声が多くあります。社内、オープンソース、モバイル、Web、サードパーティのアプリケーションを含む、あらゆるアプリケーションを柔軟に評価できます。私たちが購入したのは単なるツールではありません。Fortify on Demand は、包括的なアプリケーションセキュリティソリューションです」

詳細はこちら：
www.microfocus.com/fod
www.opentext.com